

1年次 個人と社会 (MYP2 Individuals and Society) 【社会：3単位】

科目のねらい

すべての MYP 科目のねらいでは、教師が指導すべきこと、生徒が経験し学習すべきことを提示しています。また、これらのねらいには、学習体験によって生徒がどう変わり得るかが示されています。MYP の「個人と社会」のねらいは、生徒に以下のことを促して、習得させることです。

- 人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること
- 個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること
- 環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること
- 人間のコミュニティと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること
- 地域及びグローバルなコミュニティの責任ある市民としての行動すること

探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること

目標および評価規準 (Year 3)

MYP 評価観点	
A：知識と理解	i. 文脈に合った一定範囲の用語を使う。
	ii. 記述や説明、または事例を通して、科目ごとの内容と概念についての知識と理解を示す。
B：調査探究	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定または選択し、その関連性を説明する。
	ii. 研究課題を調査するための行動計画を策定し実践する。
	iii. 関連性の高い情報を収集し記録するための方法を活用する。
	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を評価する。
C：コミュニケーション	i. 受け手と目的にとって適切な方法で、情報や考えを伝達する。
	ii. 課題の指示に従って、情報や考えを構成する。
	iii. 引用文献のリストを作成し、情報源に言及する。
D：批判的思考	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論を分析する。
	ii. 情報を要約して、有効かつ論拠のある主張を行う。
	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から分析し、その価値や限界を考察する。
	iv. さまざまなものの見方を認識し、そこに含まれる意味を説明する。

※ねらい・目標・評価規準の記述は、IBO 発行の「Individuals and Society guide」に基づいています。

関連概念（個人と社会の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

地理			
因果関係	文化	格差と公平	多様性
グローバル化	管理と関与	ネットワーク	パターンとトレンド
力・権力	過程	規模	持続可能性

歴史			
因果関係	文明	対立	協調
文化	統治	アイデンティティー	イデオロギー
革新と革命	相互依存	ものの見方	重要性

年間計画（学習指導要領観点①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度を示す）

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 （4月～9月）	1	1. 変化 2. 科学技術の革新（進歩） 3. 批判的思考スキル	歴史的分野 A 歴史との対話 B 近世までの日本とアジア 教材：教科書（歴史）、地図帳	「調査計画書」「調査レポート」【A】【B】【D】 古代までの日本がどのように変化し国家を形成していったのか考察することで現在の日本から古代の国家形成を評価する。	1. 【A】-① 【B】-③ 【D】-② 2. A-1
	2	1. 時間、場所、空間 2. 空間的・時間的位置づけ（適応） 3. コミュニケーションスキル	地理的分野 C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法 教材：教科書（地理）、地図帳、地形図	「調査計画書」「ポスター」【B】【C】 身近な地域において、自らの興味関心に応じてテーマを設定し、地域の特性を左右する要因を特定する。 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの技能を用い、身近な地域調査を行う。	1. 【B】-③ 【C】-① 2. C-16
後期 （10月～3月）	3	1. 変化 2. グローバル化と持続可能性（都市開発） 3. 情報リテラシースキル	地理的分野 A 世界と日本の地域構成 ② 日本の地域構成 C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分 (3) 日本の諸地域 (4) 地域の在り方 教材：教科書（地理）、地図帳	「調査計画書」「プレゼンテーション資料」【A】【B】【D】 以下の考察の仕方を用いて、日本の諸地域を考察し、地域の変化の要因を分析し、地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ①自然環境を中核とした考察の仕方 ②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 ③産業を中核とした考察の仕方 ④交通や通信を中核とした考察の仕方 ⑤その他の事象を中核とした考察の仕方	1. 【A】-① 【B】-③ 【D】-② 2. C-17
	4	1. 変化 2. 空間的・時間的位置づけ（時代） 3. メディアリテラシースキル	歴史的分野 B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本 (3) 近世の日本 教材：教科書（歴史）、地図帳	「歴史雑誌原稿」【C】 武家政権が全国に広まる時代を武将のリーダーシップから考察することでリーダーに必要なスキルを特定する。	1. 【C】-② 2. C-15